

平成 27 年度 第 2 回北播磨採択地区協議会 議事録（要旨）

○と き 平成 27 年 7 月 10 日（金） 10 : 00 ~ 15 : 05
○ところ 多可町中央公民館 2 階 中会議室
○出席者 北播磨採択地区協議会委員 10 名、各教科調査員代表 2 名

【次第】

1. 開 会
会長あいさつ
2. 各教科調査員会報告
3. 報告作成に係る協議
4. 閉 会

1. 開 会（会長あいさつ）

45 名の調査員の皆さんが 3 日間かけて、北播磨地区の子どもたちが意欲的に学べる教科書、そしてしっかりと学力が付く教科書などの観点から、子どもたちが使うのに適切な教科書はどれかを熱心に調査研究いただきました。

本日は、教科ごとに代表調査員 2 名による説明を受けた後、協議会委員の皆さんで十分協議をしてどの教科書にするか選定いただきたいと思います。

長時間になりますが、よろしくお願いいたします。

2. 各教科調査員会報告に係る質疑・応答

教科ごとの代表調査員 2 名による調査研究報告の説明。その後、協議会委員から調査員への質疑応答を実施。（※議事録（要旨）には各教科の質疑・応答のみ掲載。）

（1）国語（書写）

Q 1. 1 番目に推薦するのは光村、2 番目に推薦するのはどこの教科書か？

A. 三省堂。

Q 2. 全国学力・学習状況調査にも光村は十分対応できると考えるか？

A. 図表を使った教材等があり、十分対応できると考える。

Q 3. 光村は文学作品の質が高いと調査にあるが、どういう視点で質が高いのか？

A. 他の教科書と重複する部分もあるが、「少年の日の思い出」「坊ちゃん」などが掲載されている。

Q 4. 「先生にとってではなく、生徒にとってどの教科書がいいのか。」、ということなのだが、生徒にとってわかりやすいのが光村、ということか？

A. 先生にとって教えやすいからこの教科書がいい、というわけではない。先生にとって教えやすいということは、生徒にとってもいい文学作品が並んでいると考える。

Q 5. 県下でみれば、光村、東書が多いと思われる。今回、どういう観点で調査・比較されたのか？

A. 光村は、前回と比べると内容も精選され、2冊であった教科書も1冊になり使いやすい。光村、東書は、「読み物」に力を入れている。三省堂は「話す、聞く」を豊富に取り入れている。それぞれの教科書で力を入れている部分が違う。三省堂については、少し先進的な感じがする。

(2) 社会 (地図)

Q 1. 歴史認識について、教科書によってどのような幅があるか？それが採択の要因になっているか？

A. それぞれ教科書によって特徴がある。民衆の立場に立っていたり、為政者の立場に立っていたりするが、それらも含めて、生徒により理解しやすい内容は何か、ということで判断した。

Q 2. 中世の研究を踏まえた新しい人権の歴史について、教科書によって差はあったか？

A. 人権の取扱いが教科書によって記述量の差はあるが、すべてにおいて最新の研究に基づいた正しい歴史認識で編集されている。

Q 3. 日文を現在使用しているが、帝国は内容が細かく、資料集的な内容が多いと感じるが？

A. 歴史の授業では、本文を読み解いて子どもたちに理解させるというのではなく、歴史的な資料を見てその資料を活用させる。最近ではテレビで時代劇を見る機会が減り、その時代の生活の様子や服装、しゃべり方であるとか、ほとんどイメージできなくなっている。若干、資料集的であるかもしれないが、生徒にイメージをさせる視覚的效果を期待して、帝国がいいと判断した。

Q 4. 地理的分野の調査報告に「学習課題が明確」とあるが、教科書により差があるのか？

A. 帝国であれば、章全体を通して見た時に、章の中での課題設定が明確であり且つ互いに関連付けられている。小单元ごとの、「確認しよう・説明しよう」で生徒たちが理解しやすい工夫がされている。

Q 5. 調査報告書において、歴史の自由社の教科書について、「物語、記述が多い」と報告されているが、プラス評価したかマイナス評価したか？

A. 授業で活用する際において、どちらが生徒たちの理解が深めやすいかで判断し、マイナス評価をした。

Q 6. 歴史認識は非常に関心が高い。戦争についてなど、どのような考え方で調査されたのか？

A. 議論のある事象に関しては、「議論されている」と明記されていること。例えば、「関東大震災のときにデマによって多くの朝鮮人などが殺された」など書いてある教科書と、全く書いていない教科書がある。確定している事象は事実を書いてあり、確定していない事象については議論がある、と明記されている教科書についてはプラス評価した。

Q 7. 帝国の調査報告書について、「未来の社会を紹介したコラムが充実している」と書いてあるが、具体的にどのようなところか？

A. 具体例では、人権について、新渡戸稲造が紹介されている。世界に先駆けて国際連盟の中で人種差別の撤廃を提案したことなど、しっかり紹介している。生徒たちに「自分たちはこれからどうすればいいのか」ということを考えさせるような形になっている。

Q 8. 2 番目に推薦するのはどこの教科書か？

A. 地理は東書、歴史は日文、公民は東書。

Q 9. 地図は2種類あるが、帝国を推薦する理由を端的にいえば？

A. 地図を開いた時の色使い、非常に見やすい配色がされている。

(3) 数学

Q 1. 2 番目に推薦するのはどこの教科書か？

A. 2 番目は日文。

Q 2. 日文よりも啓林館がいいのは具体的にどこか？

A. (啓林館については) 今回、ナビブックという形で別冊が付いており、活用しやすい。言語活動を行うときに、自分の言葉で伝えようと提示がしてあるので、使いやすい。

Q 3. 啓林館以外にも別冊はあったか？また、実際の授業で具体的にどのように活用するのか？

A. 別冊があったのは啓林館だけ。使い方としては、各単元の導入、学習後のふり返りで使える。巻末には自由研究が載っており、関心のある子は使えると思う。

Q 4. これまでにも別冊はあったか？

A. これまではなかった。別冊にして、子どもたちの家庭学習を支える、また興味関心を高めるということから2冊になっている。

Q 5. 小学校の算数は啓林館を使っているが、小中一貫の観点から議論はあったのか？

A. 小学校から中学校へのカリキュラムのつながりを基に、小中連携の話ができた。同じ教科書を使用しているので、有効性があると感じている。

Q 6. 他社の教科書を使うと、一貫性は崩れてくるか？

A. 同じ出版社の方が、以前習ったことを踏まえて何らかの形で示そうとしている。例えば、中学校の教科書では、小学校で習った箇所はランドセルマークが入っている。

(4) 理科

Q. 調査報告書にマイナス評価として、「実験結果が次のページに掲載されている」、とあるが啓林館はどうか？

A. 啓林館については、実験結果や考察など生徒が自分たちで話し合えるような掲載方法となっている。

(5) 音楽

Q 1. 教芸を推薦されているが、マイナス面は？

A. 日本の時代と比較する年表があるのはいいが、音楽歴史上の記載がなかった。鑑賞教材のアイダ、有名な凱行進曲旋律が載っていない。

Q 2. 2, 3年上下とあるが、上を2年生で使うとは限らずに、下を2年生で活用することもあるのか？学校によって違うのか？

A. 基本的には2年生が上、3年生が下。進捗状況によっては、上を3年生で使うこともある。

Q 3. 教芸はグローバルな感じ、教出は身近というか日本的な感じがする。教芸は教出に比べると、日本的な部分が少ないように受け取ってしまうが？

A. 教芸は北播磨地区の現状に合っている。北播磨地区は合唱が盛んなので、教芸は使いやすい。生徒たちが気持ちよく歌えるような合唱曲が掲載されている、また、発声法の表記が分かりやすくして記載されている。指揮法では、生徒たちが合唱コンクールで指揮をするので、指揮法の図や息の吸い方など、わかりやすく段階的に表記されている。

(6) 美術

Q 1. 日文は「北播地区につながりがある作品が多い」とあるが、具体的には？

A. 北播地区の生徒の作品と明記されていないが、2・3年下 P.10 に人物画が掲載されている。

下の3つの作品の真ん中は、北播磨地区の生徒の作品で、1年 P.12、傘の大きな図版も北播磨地区の生徒の作品である。

Q 2. 指導される先生は、北播磨地区の生徒が描いた作品として話をされるのか？

A. 展覧会などお互いの作品を鑑賞しているので、ほとんどの先生は分かっている。

Q 3. 調査報告書に「指導経験が少なくても指導しやすい」とあるが、これはどういう意味か？

A. 1 ページの中に作品ばかり掲載されている教科書もある。日文は一つの作品がどんな発想をして、どんな資料を集めて、どんな技法を使って作ったか、明記されている。それを調査した上で報告書に載せた。

(7) 保健体育

Q 1. 学研の調査報告書ではプラス評価が多い。マイナス面は？

A. 表記の仕方が難しい、という部分はある。現在使用している教科書（東書）と迷ったところはあった。しかし、東書は内容が分かりやすくなっている反面、少し内容が浅い感じなので、中学生としては学研の方が進めやすい。

Q 2. 東書より学研の方が深く勉強ができるような点は具体的にあるか？

A. 東書は全体的に図が多く、生徒に読ませたり、理解を深めたりするのが学研より少ない。

(8) 技術

質疑応答、特になし。

(9) 家庭

Q. 特別支援教育の視点は？

A. 作業中の安全面はもちろん、例えば、P.62 にハンバーグの実習例が出ているが、レイアウトとして下ごしらえからソースを作る、左から右へ、こういうレイアウトであると見やすい。字体などもユニバーサルフォントを活用している部分もある。どの生徒にとっても見やすい教科書という観点で推薦した。

(10) 英語

Q 1. (学図の) 調査報告の内容で、「リーディングの内容に関して生徒の興味を引いたり感動させる内容になっていないものがある」とある。こういったところなのか？

A. 2, 3 年ではキング牧師のことなど心に訴えるような内容になっているが、1 年ではラブストーリーとなっており、内容の中身がない話となっている。

Q 2. 文法や活動に関しての活用のしやすさで言えばいいと思うが、読み物の教材が他社と比べてどうか？

A. どの教科書も学習指導要領を受けて、いろんな分野を探っているが、学図の場合は生命の大切さ、人権意識の高揚、外国語文化など、偏りなく取り扱っている。3年生ではアンネフランクの日記など、少し内容的には重いが、英語を通して人権意識が高まる。

Q 3. 英語を通じて人権意識の高揚、という話であるが、現場の先生の話では、英語を使うという学習に力を入れたい、という声も聞くが、いかがか？

A. 4領域あるので、英語の言葉を学ぶことも大切だが、英語を通して何を教えるかということが大きなポイントだと思う。外国と日本の違いなど、英語を通して何を教えるか、ということが教師として大事と考える。

Q 4. 学図だけが一般動詞から入っている。開隆堂は、一人称、二人称、be 動詞・一般動詞が並行するような感じ。他社も be 動詞学習後に一般動詞を学習する。これらは、調査をする上で大きな要素であったか？

A. 昔は be 動詞から入っていくのが定番であったが、言葉をしゃべるときには、「This is」より「I like」「I love」といったところから入るのがよいと考えた。言葉という点からいえば、一般動詞から入るのは、コミュニケーションをとっていく上で大きなポイントと考えた。

Q 5. 教育委員の中にも、be 動詞から入る教科書が多いにもかかわらず、なぜ一般動詞から入る学図を採択しているのか、という質問がある。言葉を習うには一般動詞から、という説明だったが、ならば、なぜ他社は be 動詞から入るのか？be 動詞から入ることのメリットとデメリット、一般動詞から入ることのメリットとデメリットは何か？

A. 最近、英語教育において、一番重きを置かれているのは、コミュニケーション活動。初期の段階だと、「好きなものは何？」とか、「何が欲しい？」、など、簡単な会話が一番コミュニケーションをとりやすい。be 動詞であれば、「これは何ですか？」「あなたは〇〇です、私は〇〇です。」など会話が限られてくるので、幅広くコミュニケーション活動を行おうと思えば、一般動詞から入るのがよい。学図では、最初に一般動詞の肯定文、疑問文、否定文を学習し、すべて習ってから be 動詞の肯定文、疑問文、否定文に移っていく。他の教科書のように一般動詞を習っている途中で be 動詞が入ってきて、また一般動詞の疑問文、というような形だと、理解に時間のかかる子には難しい。言語として2つの全く違うモノなので、一般動詞の疑問文、否定文の形をしっかりとマスターさせた上で、be 動詞に移っていくと、整理がしやすいし理解がしやすい。

Q 6. 今言われている表現活動という点では、開隆堂も学図と同じような入り方だが、なぜ開隆堂ではなく学図なのか？

A. 開隆堂も候補にあがっていた。しかし、教科書を手に取ってみると紙質、サイズ、印刷の美しさで、学図はうまく作られている。開隆堂は、少し大きめのサイズだが、長く使っていくという点では、学図の方が使いやすい。学図は生徒がいつでも教科書を見て楽しめるような工夫が随所に見られる。全体的にバランスが取れている。

Q 7. 東書の調査報告に、「Can-do リストが掲載されていない」となっている。それが大きなポイントとなっているのか？他社はどうなのか？

A. Can-do リストは、活用するよう指導がある。学図は Can-do リストはないが、同じようなものがある。

Q 8. 教出に見られるように、小学校の外国語活動と中学校の英語を関連付けているような教科書はあるか？

A. 全社、関連付けるようになっている。

Q 9. 学図では、(小・中学校の関連付けが) 何らかの形で組み込まれているか？

A. 今までは掲載されていなかったが、今回は P.4、P.10、綴りと発音のところで組み込まれている。

Q 10. 今使っている北播磨地区の教科書は、be 動詞から始まるのか？

A. 今使っている英語の教科書は一般動詞から始まっている。

Q 11. 今の教科書(学図)を使って授業をされて、ここが困難ということはないのか？

A. 困っているところは特にないが、教科書では不十分なところは指導者が補っている。

Q 12. 教科書に準拠したワーク類を使う学校が多いと思うが、学図が使われている地域が少なくワーク類が限られてしまうので困っている、という声も聞くが？

A. たくさんの種類から選ぶことができるので、特に不自由は感じていない。

Q 13. それぞれの教科書で文法をおさえられていると思うが、他の教科書と比べて学図の文法のおさえ方はどうか？

A. 文法とコミュニケーション活動を両立させるのは非常に難しいが、学図は簡潔にうまくまとめられている。

Q 14. 文法のまとめ方は、それぞれの教科書で大きな差はないのか？

A. 学図はうまくまとめられている。各セクションで文法のまとめのリスニング、スピーキング、ライティングが掲載されており、ここで復習ができる。

Q 15. たくさん教科書が出ているが、レベル差はあるのか？

A. 読み物教材において、少し差はある。

Q 16. 今は会話能力を重視するようになっているが、この教科書(学図)で十分できるか？

A. 観点を外さずに編集されているので、十分できると考える。

Q 17. 第1番目に推薦するのは学図だが、2番目に推薦するのはどこの教科書か？

A. 2 番目は開隆堂が候補にあがった。

3. 報告書作成に係る協議

調査員会報告を受けて協議会委員により協議の結果。全会一致で下記のとおり選定した。

国	語	「光 村」
書	写	「東 書」
社会（地理的分野）		「帝 国」
社会（歴史的分野）		「帝 国」
社会（公民的分野）		「日 文」
地	図	「帝 国」
数	学	「啓林館」
理	科	「啓林館」
音楽（器楽・一般）		「教 芸」
美	術	「日 文」
保 健 体 育		「学 研」
技術・家庭（技術分野）		「開隆堂」
技術・家庭（家庭分野）		「東 書」
英	語	「学 図」